

イクメンプロジェクト

■「イクメンプロジェクト」とは

- ・積極的に育児をする「イクメン」及び「イクメン企業」を周知・広報するプロジェクト(H22年度から実施)
- ・参加型の公式サイトや「イクメン企業アワード」などを通じて、多くの個人・企業への浸透を図るなど、社会的な気運の醸成を図る

■「イクメンプロジェクト」のねらい

- ・男性の育児に参画したいという希望の実現や育児休業の取得促進、女性の継続就業率と出生率の向上
- ・男性の育児休業の取得や育児短時間勤務の利用を契機とした、職場内の業務改善や働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現

事業内容 [25年度：15,640千円(委託)]

- ・有識者等による「推進チーム」の設置
座長：駒崎弘樹氏(NPO法人フローレンス代表理事) 他9名
- ・参加型公式サイト運営
 - ①イクメン宣言、体験談、「イクメンの星」の掲載(個人)
 - ②イクメンサポーター宣言(個人/企業・団体)
 - ③企業の事例集やパンフレット等関係資料の掲載
 - ④行政機関の取組やイベント情報の収集・発信
- ・「イクメン企業アワード」(25年度創設)
- ・シンポジウムの開催(全国、これまでに計9回)
- ・広報物の作成(父親のWLBハンドブック、ポスターなど)



男性の仕事と家庭の両立

現状

- ・育児休業を利用したい男性
31.8%(H20年調査)
- ・男性の育児休業取得率
H23年度2.63% → H24年度1.89%
【政府目標：H29年10% → H32年13%】
- ・男性の看護休暇取得率
H20年度2.8% → H24年度3.1%
- ・男性の育児短時間勤務取得率
H20年度1.8% → H22年度1.4%
- ・6歳未満の子を持つ夫の育児・家事関連時間
H23年67分/日
【政府目標：H32年2時間30分/日】

課題

- ◎ 男性の育児休業取得率の向上
- ◎ 育児休業だけでなく子の看護休暇、短時間勤務制度を利用しやすい職場環境の整備
- ◎ 男性の家事・育児時間の増加

関係施策

- ・育児・介護休業法の改正
(H22.6一部、H24.7完全施行)
- ・次世代育成支援対策推進法の改正(H23.4施行)
- ・ベストプラクティス集(中小企業における両立支援推進のためのアイデア集(改訂版))の作成(H25.3)

希望する人すべてが子育てをしながら安心して働くことができる社会の実現へ

平成25年度 推進チームメンバー

(座長)



■駒崎 弘樹氏
(NPO法人フローレンス代表)



■渥美 由喜氏
(株)東レ経営研究所研究部長



■おちまさと氏
(プロデューサー)



■小室 淑恵氏
(株)ワーク・ライフバランス
代表取締役社長



■山田 正人氏
(イクメン官僚 / 「経産省の山田
課長補佐、ただいま育休中」著者)

(顧問)



■安藤 哲也氏
(NPO法人ファザーリング・ジャパン
ファウンダー・副代表)



■佐藤 博樹氏
(東京大学大学院教授)

25年度 新メンバー



■吉田 大樹氏
(NPO法人ファザーリング・
ジャパン代表)



■新田 龍氏
(第4回イクメンの星)



■越智 聡氏
(第6回イクメンの星)

公式サイト（トップ画面）

ホーム | イクメンプロジェクトについて | イクメンプロジェクトチャンネル | 賞状を見る | 登録しよう | プロジェクト活動紹介 | イクメンプロジェクト公式ブログ | お問い合わせ

育てる男が、家族を変える。社会が動く。

トピックス・イベント最新情報

- 2014年1月26日（日） **NEW!**
困っている親御のPUIは電話しよう！
1月26日（日）に、滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の近畿6労働組合が合同でフリーダイヤルによる妊婦育児トラブル相談電話相談を実施することとなりました。
詳細はこちらをご覧ください。
- 2013年12月11日（水） **NEW!**

平成25年10月18日（金）イクメン推進シンポジウム開催!

「イクメン企業アワード2013」表彰式、パネルディスカッション等を行いました。
レポートはこちら

～北九州から発信！父親の笑顔、母親の笑顔、子どもの笑顔が社会を変える～

ファザーリング全国フォーラムの九州
平成25年12月20～21日 西日本総合展示場 新館A11・A13F

イクメンエピソードコンテスト結果発表

イクメンの星「その後」のレポート

イクメンプロジェクトの目的、理念、推進チームについてはコチラ

ワーク・ライフ・バランスや育児休業制度について

職場のワーク・ライフ・バランスや育児休業制度に課題があるかたはコチラ

パネルを貼ろう!

サイトにパネルを貼って、イクメンプロジェクトを応援してください。

育てる男が、家族を変える。社会が動く。

イクメンプロジェクトについて

イクメン企業アワード

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

IKUMEN AWARD 2013

イクメンプロジェクトが育児を積極的にを行い、業務改善を図る企業を応援します。
～「イクメン企業アワード」を創設しました～

目的

働きながら安心して子どもを産み育てることが出来る労働環境の整備を推進するため、男性の育児参加を積極的に促進し、業務改善を図る企業を表彰します。
表彰企業の取組内容はホームページ等で掲載し、他企業のロールモデルとして普及させていくことにより、企業における働き方を改革し、育児と仕事の両立を推進します。

広報物

ハンドブック

リーフレット

ポスター

イクメン宣言

老子の理想。
30代男性 1児の父

2013年4月に第一子が生まれました。妻と共に一年間の育児休暇を取り、現在二ヶ月が過ぎました。あれこれ理由を言う必要なく、「一年間の育児休暇を取っています」だけで通用する社会だったらいのちだと思います。産後の仕事との両立など、不安があります。同じような感覚を持つ方と共有し、対策を見つけ行動に移りたいと思っています。

第14回「イクメンの星」

イクメンの星

★ 齊藤 良太 (さいとうりょうた)

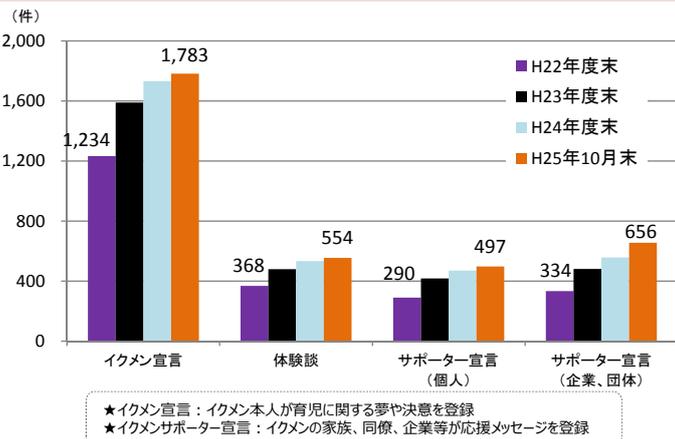
30代男性 掲載ニックネーム：よしきびー 会社員 お住まいのエリア：東京都

育児・育児体験談

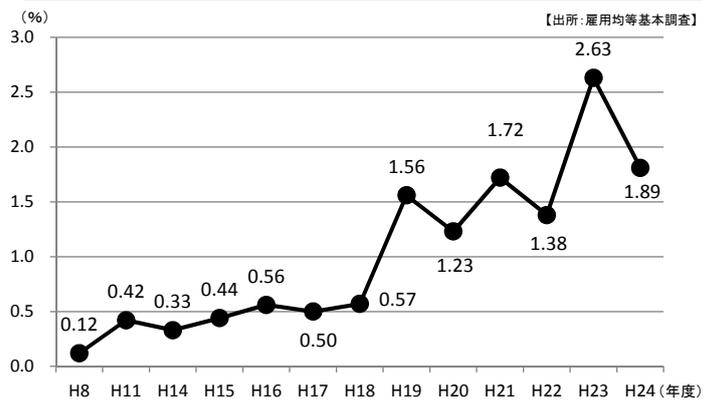
息子は3歳11か月、現在妻は第2子を妊娠中です。私の月曜日から金曜日の育児への参加は、朝7時に起床し、朝食と、息と妻の出立を待ち、8時には息の車に乗りかかっています。

（参考）関係データ

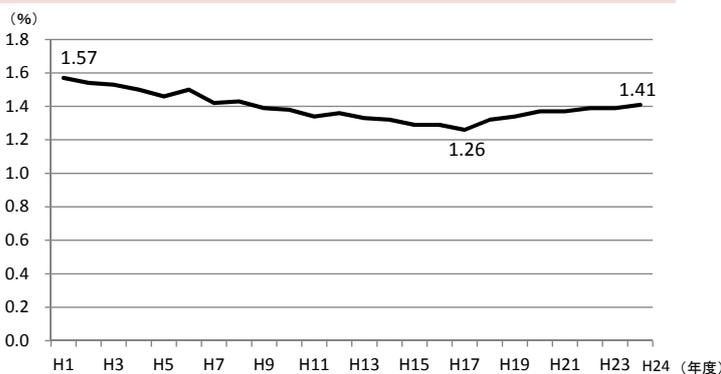
イクメン宣言などの推移



男性の育児休業取得率の推移



合計特殊出生率の推移



子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況

